



6月20日・21日 開催の第37回 九十九祭のようす

## 歯学部附属歯科衛生士専門学校校長就任にあたって

歯学部附属歯科衛生士専門学校校長 坂倉 康則



本年4月1日付で、歯学部附属歯科衛生士専門学校校長を拝命しました。近年、歯科衛生士は歯科医療のみではなく、口腔ケアを通して呼吸器疾患や全身疾患の予防を担う専門職となり、超高齢社会を迎えた地域社会の予防保健を担うことがますます期待されています。すなわち、歯科衛生士としての業務は従来の予防処置や診療補助を中心とした業務に加え、高齢者歯科、障害者歯科、介護や福祉など多様化してきており、患者等のライフステージに応じた教育内容に重点が置かれ、同時にチーム医療の一員としての知識・技術・態度が求められています。

こうした歯科衛生士を取り巻く環境が変化しつつある中で、本年3月には「歯科衛生教育コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン—」が改訂されました。このコア・カリキュラムには、歯科衛生士に求められる基本的な資質として6項目が挙げられています。その中には、「医療の高度化と社会環境の変化への対応力」「幅広い見識と豊かな人間性」などの他に、「多職種連携のできる歯科衛生士」「EBMIに基づく科学的な判断のできる歯科衛生士」という項目が掲げられています。このような歯科衛生士としての資質を具現化する歯科衛生業務のツールとして「歯科衛生過程」が歯科衛生学総論に載っています。その一般目標では、「人びとの歯科衛生ニーズにあった支援をするために、論理的に思考し、問題発見および解決することの意義を理解する。」ことを求めています。歯学部附属校である本校では、

歯学部で活躍いただいている模擬患者さんのご協力を得て「歯科衛生過程」の実践的授業を臨床実習前に展開しています。なお、本教育プログラムは、本学の2017年度教育向上改善プログラムに選定されました。

加えて、「新医療人育成のための北の拠点」を目指す北海道医療大学の一員であることから、大学の特色の一つである多職種連携に関連した教科を充実させています。本校の教育理念に基づき、地域社会における歯科医療と歯科保健活動に貢献できる歯科衛生士の養成を目指し、地域包括ケアのコア的存在としての人材を育成するため、他学部の学生と共に学ぶ「個性差健康科学・多職種連携」では、医療・福祉・保健の現場での実例から看護師と理学療法士、薬剤師と作業療法士との連携などの在り方を学び、個性差から多様性についても学びます。また、言語発達障害学・介護概論・看護概論などの授業を通してライフステージに応じた知識・技術・態度の修得を目指しています。また、姉妹提携校のアルバータ大学(カナダ)での語学研修への参加、台北医学大学(台湾)やイエテボリ大学(スウェーデン)などとの学生交流を検討しており、グローバル感覚を培うことにも力を入れていきたいと考えております。本年8月には、台北医学大学口腔学部口腔衛生学科の女子学生3名を受け入れ、本校の教育を体験するプログラムを企画しております。

今後も社会ニーズに対応できる歯科衛生士の養成を目指して、教育内容をさらに充実させたいと考えております。

## CONTENTS

歯学部附属歯科衛生士 専門学校校長就任にあたって	1
教員役職者・新任教員・昇任教員紹介	2
2015年度入試結果報告 北海道医療大学—サハリン州 交流協定締結及び 「健康科学に関するシンポジウム」を開催	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
2016年度 入試概要	6
私の学生時代	8
OB訪問「歯学部」	9
学校法人東日本学園 ○2014年度決算 ○2015年度予算	10
新入生アンケート結果報告 EDITOR'S NOTE	12



# 教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介

## 新規選出教員役職者

歯学部附属歯科衛生士専門学校校長

坂倉 康則


看護福祉学部	臨床福祉学科長	志水 幸
	教務部長	白石 淳
	学生部副部長	佐々木 栄子
	教務部副部長	大友 芳恵

リハビリテーション科学部	言語聴覚療法学科長	木下 憲治
	学生部副部長	近藤 里美
		玉重 詠子
	教務部副部長	本家 寿洋
		中川 賢嗣


## 新規特任教員

薬学部	教授	豊田 栄子
看護福祉学部	講師	今野 多美子


## 新任教員




**薬学部教授**  
(薬劑学)  
**平野 剛** (ひらの たけし)  
本学薬学部卒業。同大学院薬学研究科修士課程修了。博士後期課程修了。北海道大学薬学部講師、神戸大学医学部附属病棟薬剤師准教授、副薬剤師長、同大学院医学研究科准教授を経て、本学就任。薬学博士。




**薬学部(人間基礎科学)化学**  
大学教育開発センター講師  
**鈴木 喜一** (すずき よいち)  
北海道大学理学部卒業。同大学院理学研究科修士課程修了。博士後期課程修了。National Research Council of Canada, Steacie Institute for Molecular Science NSERC Visiting Fellowship in Canadian Government Laboratories, 京都大学大学院理学研究科研究員、同特定研究員を経て、本学就任。理学博士。




**歯学部講師**  
(口腔機能修復・再建学系(口腔制御治療学))  
**松田 康裕** (まつだ やすひろ)  
九州工業大学情報工学部卒業。本学歯学部卒業。北海道大学大学院歯学研究科修士課程修了。同大学院歯科診療センター医員、同大学院歯学研究科専門研究員、同大学院助教を経て、本学就任。歯学博士。




**歯学部(人間基礎科学)物理学**  
大学教育開発センター講師  
**中野 諭人** (なかの つぐひと)  
電気通信大学電気通信学部卒業。同大学院電気通信学研究科修士課程修了。博士後期課程修了。同電気通信学部助教、同大学院情報理工学研究科助教を経て、本学就任。理学修士。




**歯学部(人間基礎科学)国際関係論**  
大学教育開発センター講師  
**佐藤 圭史** (さとう けいじ)  
文教大学情報学部卒業。筑波大学大学院地域研究科修士課程修了。九州大学大学院比較社会文化学国際文化専攻修士後期課程単位取得満期退学。在シンガポールの日本国総領事館専門調査員を経て、本学就任。比較社会文化学修士。




**看護福祉学部准教授**  
(看護学系地域保健看護学(精神看護学))  
**宮田 普子** (みやた ひろこ)  
旭川赤十字看護専門学校卒業。旭川大学経済学部卒業。本学大学院看護福祉学研究科修士課程修了。旭川赤十字病院看護部、砂川市立病院看護部、旭川大学保健福祉学部保健看護学専攻准教授を経て、本学就任。看護学修士。




**心理科学部(臨床心理学)多職種連携**  
大学教育開発センター准教授  
**安部 博史** (あべ ひろし)  
東京学芸大学教育学部卒業。筑波大学大学院心理学研究科修士課程修了。宮崎大学医学部助教、九州理学院大学院人文学部准教授、宮崎大学医学部附属病棟精神科講師を経て、本学就任。心理学博士。




**リハビリテーション科学部教授**  
(理学療法学科)  
**武田 涼子** (たけだ りょうこ)  
北海道大学医療技術短期大学卒業。札幌医科大学保健医療学部卒業。東北大学大学院医学研究科修士課程修了。博士後期課程単位取得後退学。東北大学歯学部歯科准教授を経て、本学就任。障害科学修士。




**リハビリテーション科学部准教授**  
(作業療法学科)  
**鈴木 由美** (すずき ゆみ)  
国立仙台病院附属リハビリテーション学院卒業。山形県立保健医療大学大学院保健医療学部研究科修士課程修了。公立置賜総合病院リハビリテーション部主任作業療法士を経て、本学就任。作業療法学修士。



**リハビリテーション科学部講師**  
(理学療法学科)  
**澤田 篤史** (さわだ あつし)  
札幌医科大学保健医療学部卒業。早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了。札幌医科大学附属病院リハビリテーション部理学療法士。北海道済生会小樽病院リハビリテーション室課長を経て、本学就任。スポーツ科学修士。




**個体差医療科学センター講師**  
(医学部門)  
**堀江 幸弘** (ほりえ ゆきひろ)  
札幌医科大学医学部卒業。北海道大学大学院医学研究科修士課程修了。KQR札幌医療センター眼科医師、北海道社会事業部全部院眼科医長、主任医長を経て、本学就任。医学博士。



**個体差医療科学センター講師**  
(医学部門)  
**板谷 利** (いたや さとし)  
旭川医科大学医学部卒業。北海道大学病院第一内科医長、札幌医科大学保健医療センター医長、岩見沢市立病院医師、北海道大学病院第一内科医長を経て、本学就任。




**認定看護師研修センター専任教員**  
(感染管理分野)  
**大沼 まゆみ** (おおぬま まゆみ)  
日高師範看護高等専修学校卒業。国立療養所北海道第一病院附属看護学校卒業。放送大学教養学部卒業。本学認定看護師研修センター感染管理分野修了。日本赤十字社浦河赤十字病院外科・整形外科・急性期内科病棟看護師長、感染管理専任看護師長を経て、本学就任。




**認定看護師研修センター専任教員**  
(認知症看護分野)  
**佐藤 由子** (さとう ゆうこ)  
国立札幌病院附属看護学校卒業。北海道鍼灸専門学校卒業。放送大学教養学部卒業。La Trobe University Faculty of Health Sciences School of Nursing and Midwifery修了。日本看護協会看護科学校認定看護師課程卒業。立寄子つづみ病院地域連携・医療相談看護師を経て、本学就任。

歯学部	助教(口腔機能修復・再建学系(歯周歯内治療学))	中塚 侑子
	助教(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学))	松沢 史宏
	助教(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学))	南田 康人
	助教(生体機能・病態学系(顎顔面口腔科学))	石川 昌洋
	助教(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジインプラント補綴学))	長沼 広子
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(歯科制御治療学))	猪熊 孝憲
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進保存学))	山本 雅也
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進補綴学))	静 隆介
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進補綴学))	山田 愛子
	任期制助手(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学))	佐野 聖子
	任期制助手(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学))	アヲノカギル
	任期制助手(生体機能・病態学系(顎顔面口腔科学))	宮本 一央
	任期制助手(生体機能・病態学系(歯科放射線学))	田代 真康
	任期制助手(生体機能・病態学系(高齢者・有病者歯科学))	小林 嵩
	任期制助手(生体機能・病態学系(高齢者・有病者歯科学))	山本 健太
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))	中尾 友也
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))	岡 由紀恵
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))	戸島 洋和
看護福祉学部	助教(看護学系地域保健看護学(老年看護学))	吉岡 真由
	助教(臨床福祉学系医療福祉政策学)	松本 望
	助教(看護学系成人看護学)	鈴木 菜緒香
心理科学部	助教(臨床心理学系)情報・大学教育開発センター	西牧 可織
リハビリテーション科学部	助教(理学療法学科)	中村 宅雄
		山根 裕司
		大内 みふか


## 昇任教員




**薬学部准教授**  
(薬理學)  
**町田 拓自** (まちだ たくじ)  
本学薬学部卒業。同大学院薬学研究科修士課程修了。博士課程修了。Cornell University 医学部准教授 (Visiting Graduate Assistant)、本学薬学部講師を経て、准教授昇任。薬学博士。




**歯学部准教授**  
(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学))  
**奥村 一彦** (おくむら かずひこ)  
城西歯科大学歯学部卒業。同大学院歯学研究科修士課程修了。札幌医科大学第四内科(現腫瘍・血液内科)講義在外研究員、本学歯学部講師を経て、准教授昇任。歯学博士。




**歯学部准教授**  
(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジインプラント補綴学))  
**広瀬 由紀人** (ひろせ ゆきと)  
本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科修士課程修了。本学歯学部講師を経て、准教授昇任。歯学博士。




**歯学部講師**  
(総合教育学系(臨床教育管理運営))  
**河野 舞** (こうの まい)  
岩手医科大学歯学部卒業。北海道大学大学院歯学研究科修士課程修了。北海道大学歯学部附属病棟第二補綴科医員、清田歯科副院長、本学歯学部助教を経て、講師昇任。歯学博士。




**歯学部講師**  
(総合教育学系(臨床教育管理運営))  
**白井 要** (しらい かなめ)  
本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科修士課程修了。北海道大学大学院歯学研究科口腔医学専攻特別研究員、本学歯学部助教を経て、講師昇任。歯学博士。




**歯学部講師**  
(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジインプラント補綴学))  
**仲西 康裕** (なかにし やすひろ)  
本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科修士課程修了。本学歯学部助教を経て、講師昇任。歯学博士。




**看護福祉学部准教授**  
(看護学系成人看護学)  
**佐々木 栄子** (ささき よしこ)  
釧路赤十字看護専門学校卒業。東京都立医療技術短期大学看護教員養成課程修了。北海道大学経済学部卒業。本学大学院看護福祉学研究科修士課程修了。博士課程修了。本学看護福祉学部准教授を経て、教授昇任。看護学博士。




**看護福祉学部准教授**  
(臨床福祉学系精神保健福祉学)  
**佐藤 園美** (さとう そのみ)  
長崎県立大学経済学部卒業。アメリカ Gonzaga University 卒業。日本社会事業学校研究科卒業。本学大学院看護福祉学研究科修士課程修了。長野大学社会福祉学部講師、本学看護福祉学部講師を経て、准教授昇任。臨床福祉学修士。




**看護福祉学部准教授**  
(臨床福祉学系社会福祉学)  
**巻 康弘** (まき やすひろ)  
北星学園大学文学部卒業。同大学院社会福祉学研究科修士課程修了。社会福祉学専攻特別研究員、五輪内科病棟地域医療推進主任、北星学園大学福祉科長兼地域医療推進主任、本学看護福祉学部講師を経て、准教授昇任。社会福祉学修士。



**看護福祉学部講師**  
(看護学系地域保健看護学(地域看護学))  
**川添 恵理子** (かわぞえ えりこ)  
勤医協札幌看護専門学校卒業。北海道道立衛生学院保健師科卒業。北海道大学経済学部卒業。本学大学院看護福祉学研究科修士課程修了。社会保険看護センター教育部長、本学看護福祉学部助教を経て、講師昇任。看護学修士。



**リハビリテーション科学部准教授**  
(理学療法学科)  
**宮崎 充功** (みやざき みつひり)  
札幌医科大学保健医療学部卒業。筑波大学大学院体育科学研究科修士課程修了。同大学院人間総合科学研究科修士課程修了。日本学術振興会特別研究員、University of Kentucky Postdoctoral fellow、本学リハビリテーション学部講師を経て、准教授昇任。学術博士。



**個体差医療科学センター教授**  
(医学部門)  
**森谷 満** (もりや みつる)  
旭川医科大学卒業。同大学院医学研究科修士課程修了。遠軽厚生病院内科医長、公立厚生病院内科医長、本学個体差医療科学センター准教授兼大学院心療内科医長・医療心理学専攻准教授を経て、教授昇任。医学博士。

# 2015年度 入試 結果報告

本年度の志願者数は  
6,084名

編入学試験の  
志願総数は44名

専門学校志願者の  
7割以上がAO方式入試を利用

本年度入試の志願者総数は、前年比12.4%減少の6,084名となりました。志願者の最も多かった学科は看護学科1,235名で、次に薬学部1,045名という結果でした。

本学全体では44名が編入学を志願しました。うち19名が入学して、実質競争倍率は2.0倍でした。

毎年志願者の多くがAO方式入試を利用しています。志願者は44名で、全体の約77%を占めました。

## ■2015年度入試結果 北海道医療大学

歯学部附属歯科  
衛生士専門学校

		薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理学部		リハビリテーション科学部			歯科衛生科
		看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科						
AO方式入試	志願者数	39名	19名	47名	11名	9名	43名	17名	21名	44名			44名
	受験者数	39名	19名	47名	11名	9名	43名	17名	21名	44名			44名
	合格者数	24名	17名	10名	10名	9名	13名	8名	18名	44名			44名
	実質倍率	1.6倍	1.1倍	4.7倍	1.1倍	1.0倍	3.3倍	2.1倍	1.2倍	1.0倍			1.0倍
一般推薦入試	志願者数	22名	4名	50名	0名	3名	42名	15名	8名	3名			3名
	受験者数	22名	4名	50名	0名	3名	42名	15名	8名	3名			3名
	合格者数	19名	4名	21名	0名	3名	15名	6名	7名	3名			3名
	実質倍率	1.2倍	1.0倍	2.4倍	1.0倍	1.0倍	2.8倍	2.5倍	1.1倍	1.0倍			1.0倍
指定校 特別推薦入試	志願者数	38名	7名	32名	10名	11名	15名	9名	12名	—			—
	受験者数	38名	7名	32名	10名	11名	15名	9名	12名	—			—
	合格者数	38名	7名	32名	10名	11名	15名	9名	12名	—			—
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	—			—
一般前期入試 (大学)	1日目 志願者数	264名	91名	342名	122名	142名	199名	199名	127名	4名			4名
	2日目 志願者数	227名	66名	325名	115名	150名	201名	219名	140名				
	1日目 受験者数	250名	85名	333名	119名	138名	197名	195名	125名	4名			4名
	2日目 受験者数	210名	57名	313名	110名	142名	195名	212名	136名				
一般前期(A・B日程) (専門学校)	合格者数	142名	94名	105名	142名	144名	69名	96名	103名	4名			4名
	入学者数	65名	18名	33名	17名	18名	29名	12名	13名	2名			2名
	実質倍率	3.2倍	1.5倍	6.2倍	1.6倍	1.9倍	5.7倍	4.2倍	2.5倍	1.0倍			1.0倍
	志願者数	102名	111名	73名	34名	41名	51名	54名	39名	6名			6名
一般後期入試	受験者数	97名	107名	70名	31名	37名	50名	51名	36名	5名			5名
	合格者数	12名	19名	9名	31名	33名	10名	12名	13名	5名			5名
	入学者数	6名	9名	3名	8名	7名	5名	3名	5名	3名			3名
	実質倍率	8.1倍	5.6倍	7.8倍	1.0倍	1.1倍	5.0倍	4.3倍	2.8倍	1.0倍			1.0倍
センター前期A入試	志願者数	246名	170名	243名	96名	147名	176名	191名	119名	—			—
	受験者数	246名	170名	243名	96名	147名	176名	191名	119名	—			—
	合格者数	64名	154名	52名	92名	89名	38名	52名	67名	—			—
	実質倍率	3.8倍	1.1倍	4.7倍	1.0倍	1.7倍	4.6倍	3.7倍	1.8倍	—			—
センター前期B入試	志願者数	68名	58名	85名	64名	65名	71名	71名	60名	—			—
	受験者数	68名	58名	85名	64名	65名	71名	71名	60名	—			—
	合格者数	28名	55名	25名	62名	50名	20名	31名	41名	—			—
	実質倍率	2.4倍	1.1倍	3.4倍	1.0倍	1.3倍	3.6倍	2.3倍	1.5倍	—			—
センター後期入試	志願者数	39名	33名	38名	23名	30名	20名	28名	25名	—			—
	受験者数	39名	33名	38名	23名	30名	20名	28名	25名	—			—
	合格者数	14名	7名	12名	20名	28名	6名	11名	11名	—			—
	実質倍率	2.8倍	4.7倍	3.2倍	1.2倍	1.1倍	3.3倍	2.5倍	2.3倍	—			—
TOTAL	志願者数	1,045名	559名	1,235名	475名	598名	818名	803名	551名	57名			57名
	受験者数	1,009名	540名	1,211名	464名	582名	809名	789名	542名	56名			56名
	合格者数	341名	357名	266名	367名	367名	186名	225名	272名	56名			56名
	実質倍率	3.0倍	1.5倍	4.6倍	1.3倍	1.6倍	4.3倍	3.5倍	2.0倍	1.0倍			1.0倍

## 北海道医療大学—サハリン州 交流協定締結 及び 「健康科学に関するシンポジウム」を開催

7月3日(金)にサハリン州からガヴリルチク保健省副大臣、プシエカルスキイ放射線専門医師、スタルチェフ腫瘍専門医師が本学を訪問され、交流協定調印式、及び「健康科学に関するシンポジウム」を開催しました。

交流協定調印式では「保健医療福祉に関する問題の解決において力を合わせ、両国間の学術的協力発展、及び自国の国民に対し、必要かつ質の高い医療支援を提供する」という理念の基、新川学長とガヴリルチク保健省副大臣との調印が行われました。

調印式の後に行われた「健康科学に関するシンポジウム」では、サハリン州よりプシエカルスキイ放射線専門医師、スタルチェフ腫瘍専門医師によるプレゼンテーションに加え、本学より坂野心理学部教授、高上馬薬学部准教授、千葉歯学部教授、鈴木リハビリテーション科学部教授、山田看護福祉学部教授による研究概要発表が行われました。

シンポジウム後の意見交換では、本学、サハリン州双方より今後の交流について活発な議論が行われ、専門領域が共通している分野から交流を進めていく方針となりました。今後は、サハリン州を開催地とする交流が行われる予定です。



調印式の様子 (左からガヴリルチク副大臣、新川学長)



シンポジウム後の意見交換にて

本学 全国平均  
■ 本学 ■ 全国平均

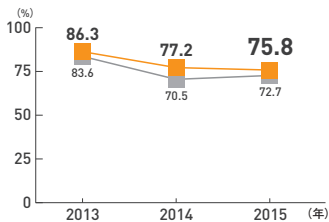
### 北海道医療大学

#### ( 第100回 薬剤師国家試験 )

全国平均を上回る合格率  
全卒業生の96.7%が薬剤師免許を取得

2015年2月、第100回薬剤師国家試験が行われました。本学からは新卒者120名が受験、91名が合格し、合格率は75.8%と全国平均(72.7%)を上回る好結果となりました。なお、本学薬学部卒業生総数5,233名の96.7%にあたる5,058名が薬剤師免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



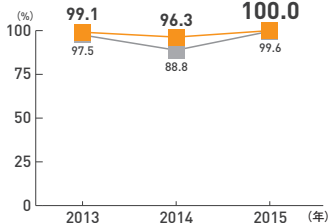
#### ( 第101回 保健師国家試験 )

新卒合格率は100.0%  
多くが看護師とのダブルライセンスを獲得

2015年の第101回保健師国家試験では100.0%(受験者116名、全員合格)でした。また、合格者のうち105名が看護師と保健師の国家資格をダブル取得しています。

※保健師国家試験受験資格は2015年度4年生からコース選択制になります(保健師養成コース:15名)。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

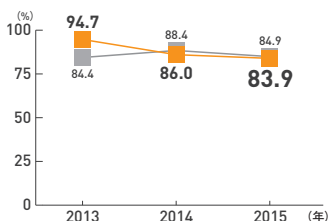


#### ( 第17回 言語聴覚士国家試験 )

全卒業生559名の95.7%が言語聴覚士国家資格を取得

2015年2月、第17回言語聴覚士国家試験が行われました。本学からは新卒者62名が受験、52名が合格し、合格率は83.9%となりました。なお、本学科の全卒業生559名のうち、95.7%にあたる535名が言語聴覚士免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

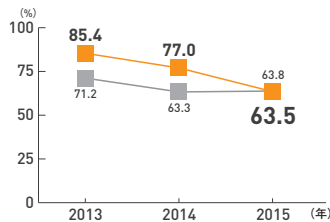


#### ( 第108回 歯科医師国家試験 )

全卒業生3,071名の98.0%が  
歯科医師国家資格を取得

2015年2月に行われた第108回歯科医師国家試験において、本学からは新卒受験者74名のうち47名が合格し、合格率は63.5%となりました。なお、本学歯学部卒業生総数3,071名のうち、98.0%にあたる3,011名が歯科医師免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

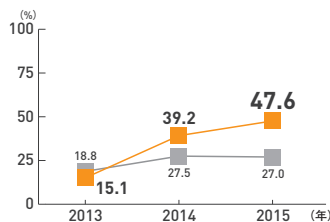


#### ( 第27回 社会福祉士国家試験 )

社会福祉士国家試験の合格率は  
道内私大トップの成績

2015年の第27回社会福祉士国家試験での本学新卒合格率は47.6%でした。全国平均を上回る好成績を収め、道内私立大学トップの合格率となりました。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### ■登録・認定資格取得結果

資格・対象学部学科等	取得者数
介護福祉士 北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科 (介護福祉コース)	17名
認定心理士 北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科	70名

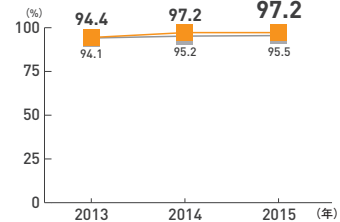
※取得者数は申請要件を満たしている者の数

#### ( 第104回 看護師国家試験 )

全卒業生1,961名のうち、  
98.7%が免許を取得

2015年に行われた第104回看護師国家試験では、本学新卒者109名のうち106名が合格し、合格率は97.2%でした。なお、全卒業生1,961名のうち、98.7%が免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

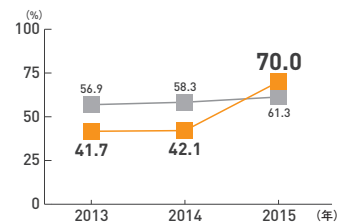


#### ( 第17回 精神保健福祉士国家試験 )

合格者の多くが  
社会福祉士とのダブルライセンスを取得

第17回精神保健福祉士国家試験の新卒合格率は70.0%でした。また、精神保健福祉士コースを履修した学生の多くが社会福祉士とのダブルライセンスを実現しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



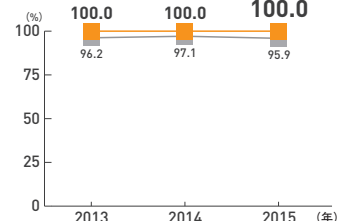
#### 歯学部附属歯科衛生士専門学校

#### ( 第24回 歯科衛生士国家試験 )

7年連続100%  
3年制移行後も安定した合格率

2015年の歯科衛生士国家試験は、本校から第29期生26名が受験し、全員が合格して合格率100%を達成しました。開校以来、高い国家資格取得率を堅持しています。また、本校は文部科学省の定める一定の基準を満たした専門学校なので、卒業すると「専門士」の称号が与えられます。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)





# 就職状況 結果報告

本学卒業生への評価の高さが、求人の質・量に直結。  
より深い知識修得をめざし大学院へ進学する人も。

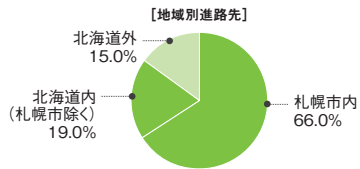
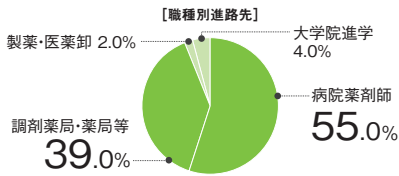
## 薬学部

2015年も5,000人を超える求人  
6年制移行後も高い就職率を維持

6年制移行後4回目の卒業生となる2015年も、全国から5,000人を超える求人が寄せられました。卒業生の多くが希望どおりの就職を果たし、総合病院を中心に病院薬剤師として、また調剤薬局の薬剤師として活躍しています。また、2015年卒業生の15%が北海道外へ就職しています。

■2015年3月卒業生の就職先

求人数	
薬剤師	5,452人
MR・研究・開発職	148人



## 歯学部

卒業後は臨床能力の向上を  
めざして臨床研修医の道へ

歯科医師国家試験合格後には臨床研修が義務化されています。2015年3月の本学の歯科医師国家試験合格者も全員が研修歯科医となり、本学附属の歯科クリニック、大学病院をはじめとした全国の臨床研修施設で研修を行っています。

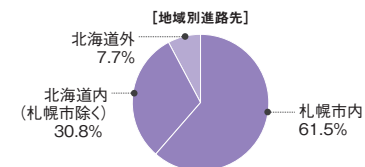
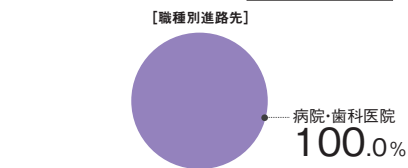
## 歯学部附属歯科衛生士専門学校

29期連続、就職希望者全員が就職

2015年の卒業生に対する求人数は458人で、就職希望者全員が就職し、開校以来29期連続で100%就職を果たしました。また本年度は卒業生全員が病院・クリニックや歯科医院に就職しましたが、障がい者施設、地域住民を対象に歯科健診や保健指導を行う保健所や市町村の保健センターなどへ就職することもできます。

■2015年3月卒業生の就職先  
(歯科衛生士)

求人数	
歯科衛生士	458人



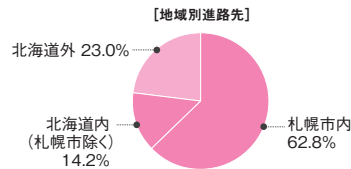
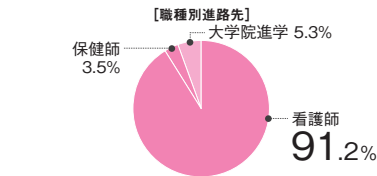
## 看護福祉学部/看護学科

卒業生は札幌と首都圏を中心に全国の  
総合病院で活躍

1993年の開設以来2015年3月までに、本学看護学科からのべ1,961人の卒業生が巣立っていきました。その多くが大学病院、公立病院を中心とした全国の総合病院で活躍中です。医療現場が本学卒業生へ寄せる期待の大きさは、例年の求人数の多さからもわかります。

■2015年3月卒業生の就職先

求人数	
看護師	17,291人
保健師	248人



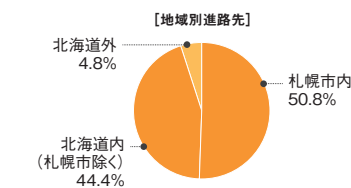
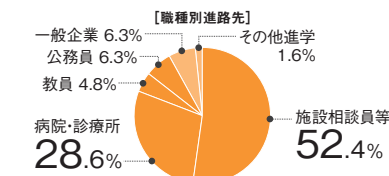
## 看護福祉学部/臨床福祉学科

卒業生の9割が福祉専門職  
教員の夢も3人が実現

2015年3月卒業生のうち92.1%が病院、デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、老人保健施設などに福祉の専門職として就職しています。また、3人は養護学校等の教員になりました。本学科の専門職の年間求人は2,000人以上と、出身地への就職も安心です。

■2015年3月卒業生の就職先

求人数	
MSW・PSW	218人
施設指導員・介護職員等	2,085人
一般事務・その他	3,874人



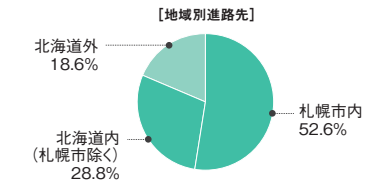
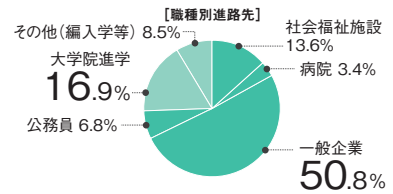
## 心理科学部/臨床心理学科

ビジネス界、医療・福祉、進学  
専門性を生かす多彩な進路

2015年3月卒業生の17.0%が医療や福祉の現場へ就職、16.9%が臨床心理士資格取得をめざして大学院へ進学しました。一方、5割以上は業種業態を問わずさまざまな企業で、また公務員として、専門性を応用する道を選んでいます。本学科は、キャリア・アドバイザーによるマンツーマン指導など4年間の学びを生かせる就職力を入れています。

■2015年3月卒業生の就職先

求人数	
心理職	80人
一般事務・その他	3,874人



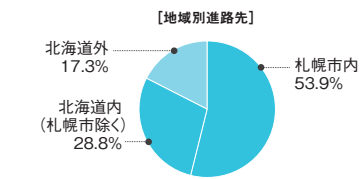
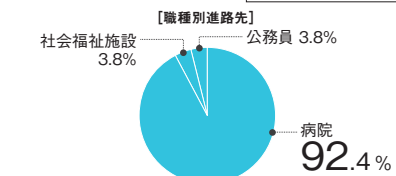
## リハビリテーション科学部/言語聴覚法学科

2015年卒業生の9割以上が  
病院の言語聴覚士として活躍

言語治療を行う医療機関や福祉施設が増加する中、毎年多くの求人が寄せられ、安定した就職実績を保っています。これまで国家試験合格者は全員、専門職として就職を果たしています。2015年3月卒業生は就職者の92.4%が病院へ就職しました。なお、本学科の前身である札幌医療福祉専門学校言語聴覚療法学科を加えた卒業生は985名。全国で活躍し、高い評価を得ています。

■2015年3月卒業生の就職先

求人数	
言語聴覚士	874人



# 2016年度 入試概要

## 本学独自の「夢つなぎ入試」で経済的支援

経済的理由により大学進学が困難な状況にある受験生を支援するため、初年度入学金の全額と授業料の半額を免除する「夢つなぎ入試」を、一般後期・センター後期入試において実施します。

## 「薬学教育・研究者育成奨学生」

### 「歯学部特待奨学生」

### 「福祉・介護人材育成奨学生」は学納金が大幅に減免

薬学部と歯学部では、将来、薬学教育・研究を支える、もしくは歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持った方を支援するため、卒業までの学納金を国公立大学と同水準とする制度を実施します。「薬学教育・研究者育成奨学生」は一般前期・センター前期A入試において、「歯学部特待奨学生」はセンター前期A・一般後期B入試において募集します。

また、臨床福祉学科では、人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、卒業までの学納金が90万円となる「福祉・介護人材育成奨学生」制度を実施します。一般前期・センター前期A・センター前期B入試において募集します。

## 一般前期入試は「試験日自由選択制」を導入

一般前期入試は1月30日と1月31日の2日間実施しており、両日とも受験できるのでチャンスが2回あります。検定料は両日受験でも1日目の受験でも一律3万円。複数学科の併願も可能で、すべての学科を受験しても追加の検定料は一切かかりません。(1日の受験で併願できる学科には制限があります。詳しくは学生募集要項をご覧ください。)

## 一般前期入試は全国12会場で実施

一般前期入試は札幌、旭川、帯広、北見、函館、青森、秋田、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の全国12会場で実施します。

## センター利用入試はチャンスが3回

前期A、前期B、後期の3回実施しています。大学独自の個別試験は行わず、本学が指定する科目の大学入試センター試験の得点のみで合否判定を行います。

また、同一入試形態内の併願が可能。追加の検定料はかかりません。さらに前期AとBの両方の入試形態に出願することもできます。

## 一般入試とセンター入試の併願が可能

一般前期入試とセンター前期A・B入試の併願や、一般後期入試とセンター後期入試の併願ができます。

## 合格のチャンスは合計7回

全学部全学科でAO方式入試、推薦入試(一般・指定校)、一般前期入試、一般後期入試、センター前期A・センター前期B・センター後期入試の合計7回の入試を実施します(歯学部は一般後期B入試を加えた8回)。

## 歯学部・臨床福祉学科ではAO方式入試Ⅱ期・Ⅲ期を実施

AO方式入試Ⅱ期の出願受付を2015年10月1日(木)から11月27日(金)まで、Ⅲ期の出願受付を2015年12月1日(火)から2016年3月23日(水)まで行っています。

## インターネット出願を実施

センター前期B入試、一般後期入試、センター後期入試で実施しています。詳細は、学生募集要項でご確認ください。

## 2016年度 北海道医療大学入試概要

	募集定員	薬学部	歯学部	看護福祉学部		心理科学部	リハビリテーション科学部		
		薬学科 【募集定員 160名】	歯学科 【募集定員 80名】	看護学科 【募集定員 100名】	臨床福祉学科 【募集定員 80名】	臨床心理学科 【募集定員 75名】	理学療法学科 【募集定員 80名】	作業療法学科 【募集定員 40名】	言語聴覚療法学科 【募集定員 60名】
AO方式入試 ※1	募集定員	17名	20名	6名	15名	10名	10名	5名	12名
	試験日	2次:2015年10月10日(土)							
	合格発表日	1次:2015年10月2日(金) 2次:2015年10月16日(金)							
	試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)							
推薦入試	募集定員	一般17名 ※2 指定校特別28名	一般8名 ※2 指定校特別8名	一般16名 ※2 指定校特別16名	一般10名 ※2 指定校特別14名	一般10名 ※2 指定校特別10名	一般10名 ※2 指定校特別10名	一般5名 ※2 指定校特別5名	一般7名 ※2 指定校特別8名
	試験日	2015年11月15日(日)							
	合格発表日	2015年11月20日(金)							
	試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)・帯広・北見・函館・仙台・東京・大阪・那覇 ※ただし、指定校特別推薦は一部会場のみ。							
一般前期入試	募集定員	65名	25名	40名	23名	24名	30名	14名	14名
	試験日	2016年1月30日(土)・2016年1月31日(日) ※3 試験日自由選択制							
	合格発表日	2016年2月11日(木)	2016年2月5日(金)	2016年2月11日(木)					
	試験会場(受験地)	札幌・旭川・帯広・北見・函館・青森・秋田・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡							
一般後期入試(B※歯学部のみ)	募集定員	5名	一般後期4名 一般後期B3名	5名	5名	4名	4名	2名	3名
	試験日	2016年2月28日(日)	2016年2月28日(日) 一般後期B 2016年3月18日(金)	2016年2月27日(土)					
	合格発表日	2016年3月7日(月)	2016年3月7日(月) 一般後期B 2016年3月23日(水)	2016年3月7日(月)					
	試験会場(受験地)	札幌・東京・大阪							
前期A入試	募集定員	15名	6名	8名	6名	8名	7名	4名	8名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2016年2月11日(木)	2016年2月5日(金)	2016年2月11日(木)					
前期B入試	募集定員	10名	4名	6名	4名	6名	6名	3名	6名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2016年2月11日(木)	2016年2月5日(金)	2016年2月11日(木)					
後期入試	募集定員	3名	2名	3名	3名	3名	3名	2名	2名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2016年3月7日(月)							

※1 歯学部・臨床福祉学科はⅡ期、Ⅲ期の出願があります。 ※2 指定校特別推薦は指定校制です。募集要項等は、直接指定校のみに配布しますので、詳細は各高等学校へお問い合わせください。

※3 一般前期入試の試験日は2日間設定しており、出願時に希望する試験日を登録できます。

## センター利用入試(前期A)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語	「英語」
	数学	「数学I-A」、「数学II-B」から1科目選択
歯学部 (歯学科)	理科	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択
	外国語	「英語」
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	数学・国語	「数学I」、「数学I-A」、「数学II」、「数学II-B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
心理科学部 (臨床心理学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択
リハビリテーション科学部 (理学療法学科/作業療法学科/言語聴覚療法学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択

【備考】 ●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含まれません。  
●薬学部の「数学」「理科」については、センター試験の得点を2倍にして計算します。  
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

## センター利用入試(前期B・後期)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語・数学	「英語」、「数学I-A」、「数学II-B」から1科目選択
	理科	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	外国語・数学・国語	「英語」、「数学I」、「数学I-A」、「数学II」、「数学II-B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
心理科学部 (臨床心理学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択
リハビリテーション科学部 (理学療法学科/作業療法学科/言語聴覚療法学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択

【備考】 ●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含まれません。  
●「英語」以外の科目は、センター試験の得点を2倍にして計算します。  
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

## 歯科衛生士 試験概要

### AO方式入試エントリー受付中。各入試の試験会場は道内各地。

本年度も歯科衛生士専門学校では、AO方式入試においてエントリーを受け付けます。推薦入試を10月・11月と2回実施し、推薦入試Ⅱ期は本校・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Aは札幌・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Bは札幌・旭川・帯広・北見・函館の5会場で開催します。また、AO方式入試・推薦入試において早期に書類合格した方は、入学金20万円の半額が減免となります(人数に制限があります)。

#### ■2016年度 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校入学試験概要

	AO方式入試	推薦入試		一般前期入試(A日程)	一般前期入試(B日程)	一般後期入試
		I 期	II 期			
募集定員	20名	17名		5名	5名	3名
試験日	エントリーシート提出後、面接を実施	2015年10月10日(土)	2015年11月15日(日)	2015年12月6日(日)	2016年1月31日(日)	2016年2月28日(日)
合格発表日	出願受付後10日を目途に通知	2015年10月16日(金)	2015年11月20日(金)	2015年12月9日(水)	2016年2月5日(金)	2016年3月7日(月)
試験会場	本校(当別キャンパス)他	本校(当別キャンパス)	本校(当別キャンパス)・帯広・北見・函館	札幌(札幌サテライトキャンパス)・帯広・北見・函館	札幌・旭川・帯広・北見・函館	札幌(札幌サテライトキャンパス)

## 編入学 試験概要

### 2年次・3年次の編入学制度があります。

本学は、一般の入学試験とは別に、専修学校や短期大学を卒業した方(卒業見込み者含む)、または大学在学中(2年以上、62単位以上修得)の方、さらに一度社会に出たけれども専門知識や能力をより高めたいと考えている方を対象に、2年次、3年次編入学試験を実施しています。一般選抜のほかに、社会人特別選抜も実施しています。また、編入学試験は毎年2回行われており、I期で不合格であってもII期で再チャレンジすることができます。

#### ■2016年度 北海道医療大学編入学試験概要

\*心理科学部言語聴覚療学科の編入学試験は、2017(平成29)年度よりリハビリテーション科学部言語聴覚療学科編入学試験として実施予定です。

	薬学部 (3年次編入) ●薬学科	歯学部 (2年次編入) ●歯学科	歯学部 (3年次編入) ●歯学科	看護福祉学部 (3年次編入)		心理科学部 (3年次編入) ●臨床心理学科	リハビリテーション科学部 (2年次編入)		
				●看護学科	●臨床福祉学科		●理学療法学科	●作業療法学科	
I 期	募集定員	7名	若干名	若干名	6名	6名	2名	3名	3名
I 期	試験日	2015年11月15日(日)							
	合格発表日	2015年11月20日(金)							
	試験会場	本学(当別キャンパス)・東京・大阪							
II 期	募集定員	3名	若干名	若干名	3名	3名	若干名	2名	2名
II 期	試験日	2016年1月31日(日)				2016年1月30日(土)			
	合格発表日	2016年2月11日(木)	2016年2月5日(金)		2016年2月11日(木)				
	試験会場	札幌・東京・大阪							

## 大学院入学 試験概要

### 各研究科とも、一般選抜、社会人選抜を実施。

本学の大学院には、薬学・歯学・看護福祉学・心理科学・リハビリテーション科学の5研究科があり、すべての研究科において一般選抜と社会人選抜があります。また、歯学研究科では「研究コース」に加え「認定医・専門医養成コース」もあり、研究者だけでなく、認定医・専門医育成の体制も整っています。看護学専攻修士課程では、専門看護師(CNS)、ナースプラクティショナー(NP)の教育課程も設置しています。

#### ■2016年度 北海道医療大学大学院入学試験概要

\*薬・歯学研究科につきましては、2015年度10月入学試験を実施しております。

	修士課程 第1回	修士課程 第2回	修士課程 第1回	修士課程 第2回	修士課程 第3回	薬学研究科 ●生命薬科学専攻[修士課程] ●薬学専攻[博士課程]		歯学研究科 ●歯学専攻 *1[研究コース/認定医・専門医養成コース]		看護福祉学研究科 ●看護学専攻 ●臨床福祉学専攻		心理科学研究科 ●臨床心理学専攻 ●言語聴覚学専攻		リハビリテーション科学研究科 ●リハビリテーション科学専攻	
						募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日	募集定員	試験日
修士課程	募集定員	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	2015年8月26日(水)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	2015年8月26日(水)	一般選抜: 14名(社会人を含む) 社会人選抜: 14名(一般を含む)	一般選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(一般を含む)	2015年9月29日(火)	一般選抜: (臨床心理学) 10名以内(学内選抜含む) (言語聴覚学) 3名(社会人を含む) 社会人選抜: (臨床心理学) 10名以内(学内選抜含む) (言語聴覚学) 3名(社会人を含む)	2015年9月16日(水)	一般選抜: 5名(社会人を含む) 社会人選抜: 5名(一般を含む)	2015年10月19日(月)	
	試験日	2015年8月26日(水)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	2015年9月29日(火)	2015年9月29日(火)	2015年9月16日(水)	2015年9月16日(水)	2015年10月19日(月)	2015年10月19日(月)		
	合格発表日	2015年9月2日(水)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2015年9月28日(月)	2015年10月6日(火)	2015年10月6日(火)	2015年9月25日(金)	2015年9月25日(金)	2015年10月26日(月)	2015年10月26日(月)		
	募集定員	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	一般選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(一般を含む)	2016年1月19日(火)	一般選抜: (臨床心理学) 2名 (言語聴覚学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (臨床心理学) 2名(一般を含む) (言語聴覚学) 2名(一般を含む)	2016年1月20日(水)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月25日(月)	
	試験日	2016年1月14日(木)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	2015年9月29日(火)	2016年1月19日(火)	2016年1月19日(火)	2016年1月20日(水)	2016年1月20日(水)	2016年1月25日(月)		
	合格発表日	2016年1月21日(木)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2015年9月28日(月)	2015年10月6日(火)	2016年1月26日(火)	2016年1月26日(火)	2016年1月28日(木)	2016年1月28日(木)	2016年2月1日(月)		
博士課程	募集定員	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	2015年8月26日(水)	一般選抜: 14名(社会人を含む) 社会人選抜: 14名(一般を含む)	一般選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(一般を含む) *社会人とは、修士課程修了後、3年以上の実務経験を有する者	2016年2月9日(火)	一般選抜: (臨床心理学) 2名 (言語聴覚学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (臨床心理学) 2名(一般を含む) (言語聴覚学) 2名(一般を含む)	2016年2月10日(水)	一般選抜: 2名(社会人を含む) 社会人選抜: 2名(一般を含む)	2016年2月12日(金)	
	試験日	2016年1月14日(木)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	2016年2月9日(火)	2016年2月9日(火)	2016年2月10日(水)	2016年2月10日(水)	2016年2月12日(金)			
	合格発表日	2016年1月21日(木)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2015年9月28日(月)	2015年10月6日(火)	2016年2月16日(火)	2016年2月18日(木)	2016年2月18日(木)	2016年2月19日(金)			
	募集定員	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	2016年1月14日(木)	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	一般選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (看護学) 2名(社会人を含む) (臨床福祉学) 2名(一般を含む) *社会人とは、修士課程修了後、3年以上の実務経験を有する者	2016年2月9日(火)	一般選抜: (臨床心理学) 2名 (言語聴覚学) 2名(社会人を含む) 社会人選抜: (臨床心理学) 2名(一般を含む) (言語聴覚学) 2名(一般を含む)	2016年2月10日(水)	一般選抜: 2名(社会人を含む) 社会人選抜: 2名(一般を含む)	2016年2月12日(金)	
	試験日	2016年1月14日(木)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2016年1月14日(木)	2015年8月26日(水)	2015年9月17日(木)	2015年9月29日(火)	2016年2月9日(火)	2016年2月9日(火)	2016年2月10日(水)	2016年2月10日(水)	2016年2月12日(金)		
	合格発表日	2016年1月21日(木)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2016年1月21日(木)	2015年9月2日(水)	2015年9月28日(月)	2015年10月6日(火)	2016年2月16日(火)	2016年2月16日(火)	2016年2月18日(木)	2016年2月18日(木)	2016年2月19日(金)		

【試験会場】薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科・リハビリテーション科学研究科は当別キャンパス、心理科学研究科は札幌あいの里キャンパスで実施します。

\*1 研究コースは一般選抜および社会人選抜、認定医・専門医養成コースは一般選抜のみの実施になります。



## はまなす色の思い出

看護福祉学部  
看護学科

准教授 杉田 久子



「君がうて 希望の鐘を エルムのまちに」は、第25回全国身体障害者スポーツ大会(当時)「はまなす大会」のスローガンです(1989年9月30日、10月1日開催)。私は、大会コンパニオンとして手話通訳を担当しました。

看護短大(当時)に入学して間もなく、北海道知事からの協力要請で、正規課程外に組まれた手話講座をクラスメイト全員で受講することになりました。手話は



競技場のスタンド席に向けて手話通訳中。  
(当時は看護2年生)

未経験で、大会まで1年半。単位認定がないこの講座に、意欲溢れる学生は一人もいなくて、皆、負担感いっぱいでした。

初めは指文字で五十音を覚えます。自分の名前、簡単な挨拶表現はすぐにできました。メールやLINE等がない時代ですから、授業中に手話を使って連絡事項を伝えあうなど、便利に活用したものです。次第に授業が忙しくなり、試験が近づき、思うように時間が使えなくなると、殆ど上達しなくなり挫折感に襲われます。一人、二人と辞退者が出ていきました。

最終的に40名が手話コンパニオンに任命されました。即位されたばかりの天皇、皇后両陛下をお迎えするため、式典の手話通訳は重要任務です。大会直前には手話合宿が生まれ、毎晩遅くまで練習しました。

はまなす色のユニホームを着て、競技場のスタンドに立った時は、緊張で足が震え、



選手団の皆さんと後夜祭の大通公園で。  
中央(左から3番目)が私。

心が折れそうになりました。そんな時、手話で「ありがとう」とお礼を下さる方がいて、「伝わったのだ」と安堵しました。次第に手話を目当てにする方達に囲まれ、明るくて、感情豊かな選手団の皆さんと交流することができ、感動もひとしおでした。

当時は、障害をもつ人への理解も資源も十分ではありませんでした。この「はまなす大会」が障害者の福祉に資する意義は大きかったと考えます。この体験から四半世紀を超え、看護と福祉が融合した看護福祉学部で学生さんを支援できることに何かのご縁を

感じます。私の看護学生時代は挫折と感動のはまなす色でした。

最後に、必死で覚えた手話ですが、今では「あ、い、う、え、お」の指文字が精一杯です。

## 私の学生時代

今、本学の教壇に立たれている先生たちは、学生時代をどのように過ごしていたのでしょうか。今回は杉田 久子准教授と上野 武治教授のお二人に、当時の様子を語っていただきました。

## 寮生活の6年

リハビリテーション科学部  
作業療法学科

教授 上野 武治



私の大学生生活は1962~1968年の6年間ですが、この間、2つの寮で暮らしました。いずれの寮も2人部屋で、毎年、くじで部屋と相手を決めていました。

最初の4年は父の勤務の関係で、北22条西9丁目にあった鉄道弘済会の学生寮です。この寮は定員30名(3年目から50名)



1年目のGW、北星の女子寮生と合ハイ、十五島公園で一緒に豚汁を作る。(前列右から3人目が私)

で、「国鉄職員の子弟を“大事に”預かる」をモットーに、国鉄のOBが「寮長」として住み込んでいました。その後の2年は、当時、北14条西2丁目にあった北大の学部寮(北学寮)です。この寮は寮生大会で何事も決める自治寮で、経済的には苦しい学生が多いものの皆さん逞しく、寮内は自由な空気に満ちていました。

この中で最も印象が鮮明なのはやはり1年生の時です。3月末、決められた部屋に入って驚いたのは、部屋の先輩の机や本棚が本でピシッリ覆われていたことです。文系のまだ2年生でしたが、大学生はこんなに本を読むのかと感動したものでした。さらに、この寮には、1年生は「ゴールデンウィークに市内女子学生寮の1年生と合ハイ(合同ハイキングのこと)を行う」とか、「藻岩山の山開きの深夜12時に寮を発ち、山に登る」などの伝統がありましたが、これらは新入寮生同士のつながりを強める配慮でした。当時の3、4年生は60年安



1964年の3年時、原水爆禁止世界大会で広島に行き、被爆の実態を知るが、今も世界各地で「ヒバクシャ」が生まれ、また、当時米軍がベトナム南部に撒いていた枯葉剤は今も3世代300万人を超える住民に深刻な健康被害を与えている。(正面左から3人目、挨拶しているのが私)

保の渦中にいた世代で、学部の勉強や卒論実験、就職活動に追われていましたが、こうした先輩の話から「就職に臨むとはこのようなことか」と感ずることもしばしばで、皆さん、本当に大人でした。また、学部が決まり、専門を深めるごとに(当時の北大は2年後期に学部学科が決まった)、物事の見方・考え方も目に見えて変わって来るようで、私のように先の長い学部は非常に特殊だと痛感したものでした。

今振り返っても、寮の6年間は学ぶことの多い貴重な体験であったと思っています。



# OB訪問



今回は本学から南へ2,000km、大分県別府市の歯科医院院長・藤井さんです。卒後4年で開業を叶えて23年、自ら臨床に立ちながら、診療台12台、スタッフ17名の歯科医院を率い、その経験を後輩育成にも惜しみなく発揮しています。

## 医療法人ルミエール歯科(大分県) 院長

藤井 茂仁さん (歯学部歯学科1987年3月卒業、  
2000年3月歯学部歯学研究所博士課程修了)

### 居心地のいい歯医者さん

観光都市・別府市で美しい住宅地として知られるルミエールの丘に本学歯学部4期生、藤井茂仁さんの経営する医療法人ルミエール歯科があります。一般・小児・矯正・審美の歯科、インプラント、口腔外科に加えドライマウス外来、口腔漢方を診療メニューに掲げ、5名の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、医療事務、総勢17名のチームで幅広い層の患者さんを受け入れています。人口に占める留学生の割合日本一という別府市らしく、患者さんの国籍も多彩です。

「他の歯科医院と同じなら当院の存在価値はありませんから」と、藤井さんは開業以来、“他院では体験できない快適”を提供する医院経営を自らに課してきました。「自分の家族を治療する気持ちで患者さんに接する」という診療姿勢は、開業当時小学生だった患者さんが成人して子どもを治療に連れてきたり、「小さい孫が泣かなかったというから、私の入れ歯も」と来院される方がいたり、しっかりと地域に根付いてきました。藤井さんの診療で歯科に興味をもち、帰国後に大学歯学部へ入学した留学生患者さんもいたそうです。

### いい医療のための「幸せ」

実は藤井さんは大阪生まれの大阪育ち、大分県はお母様の出身地です。身内に歯科関係者はいませんでした。高校時代に抱いた憧れから選んだ道を実現させてくれたのは家族の力でした。「父は青年実業家だったのですが事業に失敗し、物心ついた時は個人トラックの運転手。歯学部には縁遠い環境でしたが、父は夜も明けぬうちから夜遅くまで、必死で働いて学費を払ってくれました」。

逆境に負けないうまさと家族を思う心をお父様から受け継いだ藤井さんは、家族を



「できるだけ歯を削らない、神経を取らない、抜かない」、そして「保険内でよりよい診療」が診療のコンセプト。いまの歯科診療の主流を実践しています。一般的な予約制を採用せず、時間の無駄やわずらわしさを減らしていることも「通いやすさ」として好評です。

とても大切にしています。「まず夫婦、そして親子の関係を大切に」と、ちょっと勇気がいるような言葉をさりりと口にし、「幸せにしたのは家族、そして一緒に働くスタッフ」と続けます。人としての温かさや安定感が、結果的によりよい診療、患者さんの幸せにつながり同院のファンを増やしているようです。

### 勝負は卒後2年間

藤井さんは本学卒業後、大阪と大分で3年半、勤務医として臨床経験を積みました。「早く開業したい一心で」歯科に関わるすべてをあるがまま受け入れたといいます。「昼休みもなく毎日10時間フル稼働が続いたときも、不思議と待遇面に不満は抱きませんでした」。先輩歯科医師や歯科技工士が時に徹夜で与えてくれた知識や技、医療マインド、すべてが現在の藤井さんをつくっています。

「歯学部卒業後の2年間が歯科医師の根幹を形成する」。勤務医時代に得た確信は歯科医師免許を取得したばかりの本



本学1年時、当時教養部があった音別町(現釧路市)の学生寮で迎えた誕生日。右上が藤井さん。岩手県で東日本大震災の犠牲となられた歯科医師・山崎正巳先生(左上)との大切な思い出の1枚です。

学出身研修医への指導に活かされています。さらに本学後援会や同窓会の役員を務め、母校から遠く離れた場所で、後輩を様々な面からバックアップしてくれています。

藤井さんは開業医の一つの成功モデルを示してくれる存在です。「現状に甘え精進を怠ればすぐに転落するという緊張感を忘れない」と覚悟をもって医院経営にあたり、自ら最新の医療を提供する姿は後輩の大きな憧れです。でも、それ以上に、藤井さんは「医療は人」を感じさせてくれます。幸せな日常が幸せな医療を生むことを、日本列島の北と南を結ぶ光の架け橋として、これからも長く後輩に伝え続けてほしいと願います。



緊張して訪れる患者さんも、ふっと肩の力が抜ける雰囲気チーム全体でつくっています。本学出身歯科医師が現在4人活躍中です。

# 2014年度決算について

2014(平成26)年度決算は、学園監事による監査を受けた後、5月26日開催の理事会において承認されましたので、その概要についてお知らせします。

## 2014年度決算の概要

はじめに  
経済状況の悪化や少子化による18歳人口の減少等により、学校法人の経営は一層厳しさを増しています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、授業料収入などの有限の財源のほかに補助金や受託研究等外部からの資金導入を積極的に図り効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。今後も努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【計算書の解説】

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。消費収支計算書は、当該年度の学生納付金等の「帰属収入」から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と「人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状態、内容により経営状況を把握するものです。消費収支計算書は、資金収支計算書の収入の部から学校法人の帰属収入とならない借入金等収入および資金の動きだけを示す前受金、その他の収入等は除かれます。また、支出の部から借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれます。一方、帰属収入として寄付金収入に現物寄付金か計上され、消費支出として退職給与引当金繰入額および減価償却額が計上されます。貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、負債、基本金および消費収支差額の状況を前年度末の額と比較して示します。財務状況や経営分析に使用する重要なものです。

### 【資金収支計算書】

収入に関しては、学生生徒等納付金収入が予算比281万円増、手数料収入が予算比1,895万円増、寄付金収入が予算比2,960万円増、補助金収入が予算比1,422万円増、資産運用収入が予算比2,324万円増、資産売却収入が予算比775万円増、雑収入が予算比953万円減となりました。事業収入は予算比4,021万円減となりました。収入の計は予算比3億6,102万円減の10億6,650万円です。  
また、支出に関しては、人件費支出が予算比1億1,916万円増、教育研究経費支出が予算比5,752万円増、管理経費支出が予算比481万円減となりました。施設設備関係支出については、耐震補強工事や講義棟等の施設、設備改修工事を行いました。支出の計は予算比5億5,378万円増の9億5,987万円となり、次年度繰越支払資金は予算比1億9,275万円増の7億7,770万円となりました。  
【消費収支計算書】  
帰属収入は予算比1億4,371万円減の9億8,797万円となり、基本金組入額は予算比5億4,462万円減の3億3,280万円となりました。その結果、消費収入は予算比4億917万円

の88億5,517万円となりました。

また、消費支出は予算比1億6,997万円減の89億9,412万円となり、消費収支差額(=消費収入-消費支出)は1億3,895万円の支出超過、翌年度繰越消費支出超過額は125億9,126万円となりました。一方、帰属収支差額(=帰属収入-消費支出)は対予算比2,626万円増の1億9,385万円となりました。

### 【貸借対照表】

総資産350億8,246万のうち、固定資産は272億4,991万円、流動資産は78億3,254万円となりました。流動資産のうち現金預金は70億7,770万円です。  
総負債50億6,161万のうち、固定負債は27億4,363万円、流動負債は23億1,798万円となりました。なお、長期借入金および短期借入金1億円、未払金等が増えたため負債総額が前年対比17億5,369万円増加しました。これらの結果、総資産から総負債を差し引いた正味資産は300億2,085万円となり、前年対比1億2,395万円増加しました。  
また、減価償却の累計額は、238億4,107万円であり、基本金の当期組入額は3億3,280万円組入合計額は426億1,211万円となりました。

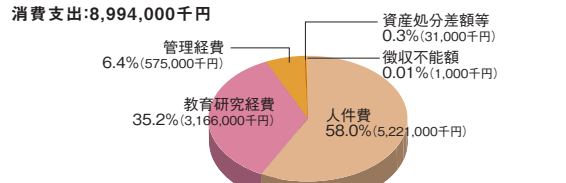
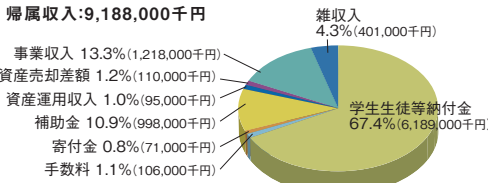
### 資金収支計算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	6,185,820,000	6,188,633,820	△ 2,813,820	人件費支出	5,319,582,000	5,200,423,905	119,158,095
手数料収入	87,138,000	106,088,890	△ 18,950,890	教育研究経費支出	2,329,528,004	2,272,004,665	57,523,339
寄付金収入	78,000,000	48,400,000	29,600,000	管理経費支出	486,122,344	481,316,202	4,806,142
補助金収入	1,112,648,000	998,423,459	114,224,541	施設関係支出	1,804,768,800	1,712,411,800	92,357,000
資産運用収入	71,769,000	95,010,738	△ 23,241,738	設備関係支出	589,315,160	475,414,805	113,900,355
資産売却収入	102,540,000	110,294,136	△ 7,754,136	資金運用支出	0	0	0
事業収入	1,258,233,000	1,218,021,130	40,211,870	その他の支出	719,546,000	717,311,902	2,234,098
雑収入	410,536,000	401,003,706	9,532,294	予備費	(19,455,748)		
借入金収入	1,000,000,000	1,000,000,000	0		30,544,252		
前受金収入	819,842,000	783,524,900	36,317,100				
その他の収入	541,384,000	558,093,300	△ 16,709,300				
資金収入調整勘定	△ 1,240,385,000	△ 1,440,992,452	200,607,452	資金支出調整勘定	△ 1,219,650,000	△ 1,352,904,949	133,254,949
当年度資金収入合計(A)	10,427,525,000	10,066,501,627	361,023,373	当年度資金支出合計(B)	10,059,756,560	9,505,978,330	553,778,230
前年度繰越支払資金	6,517,173,319	6,517,173,319	0	次年度繰越支払資金	6,884,941,759	7,077,696,616	△ 192,754,857
収入の部合計	16,944,698,319	16,583,674,946	361,023,373	支出の部合計	16,944,698,319	16,583,674,946	361,023,373
				当年度資金収支差額(A)-(B)	367,768,440	560,523,297	△ 192,754,857

### 消費収支計算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金	6,185,820,000	6,188,633,820	△ 2,813,820	人件費	5,300,855,000	5,221,268,221	79,586,779
手数料	87,138,000	106,088,890	△ 18,950,890	教育研究経費	3,241,438,004	3,165,745,014	75,692,990
寄付金	103,000,000	70,496,165	32,503,835	管理経費	580,298,344	575,518,520	4,779,824
補助金	1,112,648,000	998,423,459	114,224,541	資産処分差額	10,000,000	30,612,302	△ 20,612,302
資産運用収入	71,769,000	95,010,738	△ 23,241,738	徴収不能額	0	978,060	△ 978,060
資産売却差額	102,540,000	110,294,136	△ 7,754,136	予備費	(18,499,948)		
事業収入	1,258,233,000	1,218,021,130	40,211,870		31,500,052		31,500,052
雑収入	410,536,000	401,003,706	9,532,294	消費支出の部合計(B)	9,164,091,400	8,994,122,117	169,969,283
帰属収入合計(A)	9,331,684,000	9,187,972,043	143,711,957	当年度消費支出超過額	709,828,400	138,952,892	
基本金組入額合計	△ 877,421,000	△ 332,802,818	△ 544,618,182	前年度繰越消費支出超過額	12,452,304,504	12,452,304,504	
消費収入の部合計	8,454,263,000	8,855,169,225	△ 400,906,225	翌年度繰越消費支出超過額	13,162,132,904	12,591,257,396	
				帰属収支差額(A)-(B)	167,592,600	193,849,926	△ 26,257,326

### ■2014年度消費収支の構成比率



### 貸借対照表

【資産の部】				【負債・基本金・消費収支差額の部】			
科目	2014年度末	2013年度末	増減	科目	2014年度末	2013年度末	増減
固定資産	27,249,911,218	26,041,504,094	1,208,407,124	固定負債	2,743,630,436	1,822,786,120	920,844,316
有形固定資産	19,602,845,640	18,405,596,615	1,197,249,025	流動負債	2,317,976,353	1,485,129,408	832,846,945
その他の固定資産	7,647,065,578	7,635,907,479	11,158,099	負債の部合計(B)	5,061,606,789	3,307,915,528	1,753,691,261
流動資産	7,832,544,257	7,093,410,194	739,134,063	基本金	42,612,106,082	42,279,303,264	332,802,818
資産の部合計(A)	35,082,455,475	33,134,914,288	1,947,541,187	翌年度繰越消費支出超過額	12,591,257,396	12,452,304,504	138,952,892
				合計	35,082,455,475	33,134,914,288	1,947,541,187
				正味資産(A)-(B)	30,020,848,686	29,826,998,760	193,849,926

### ■主な事業の実績 2014年度事業計画に基づき、主な事業と進捗状況は、以下のとおりです。

#### ■教育及び学生支援活動

1. 大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻修士課程の博士課程への変更  
リハビリテーション科学部を基礎とする大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻修士課程を、2013(平成25)年4月に設置しました。修士課程が修了者を輩出す2015(平成27)年3月以降引き継ぎ修士課程の研究の継続を希望する者のために同研究科同専攻の課程を博士課程に変更(修士後期課程を新たに設け、既存の修士課程を博士前期課程に変更する)届出が9月30日付で受理されました。
2. 専門看護師(NNS)の養成  
専門看護師とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率的に提供するための知識及び技術を備えた看護師と定義づけられており、日本看護協会が資格認定を行っています。本学では大学院看護福祉学研究所において、専門分野として定められた11分野(2012(平成24)年7月現在)のうち、慢性看護、老年看護、精神看護、慢性疾患看護、がん看護及び感染症看護の6分野を開設しており、2014(平成26)年度についても引き続きその養成に努めました。
3. NPI(ケース・プラクティショナー)の養成  
大学院看護福祉学研究所では、2010(平成22)年度から、5年以上の実務経験が豊富な看護師を対象に、医師と協働して作成したマニュアル内で診断書が提供できるNPI(ケース・プラクティショナー)の養成を開始し、引き続きその養成に努めました。
4. 心理科学部の別当キャンパスへの移転準備  
2015年度(平成27)年度からの心理科学部の別当キャンパスへの移転準備を進めました。
5. リハビリテーション科学部改組(リハビリテーション科学部看護療法学科の設置)  
心理科学部の別当キャンパスへ移転を機に心理科学部に所属していた言語聴覚療法学科をリハビリテーション科学部所属の学科として改組転換し、理学・作業・言語の3療法に関する教育・研究を一元部で進捗させながら実施する体制の準備を進めました。届出について149月30日付で受理されました。
6. 転学部・転学科制度の実施(他学部への転学科制度の実施)

- 転学部・転学科制度はこれまで同一学部他学科に限っていましたが、学生の適性、多様な能力、学習意欲等に柔軟に対応することを目的に、他学部の学科へも転学科でできる制度に拡大しました。
7. 札幌医科大学との連携推進  
連携協定に基づき、札幌医科大学が実施している地域医療実習に、本学学生が参加するなど、同大学との連携を推進しました。  
※地域医療実習・札幌医科大学では地域密着型チーム医療実習として、全学部学科の学生が参加して実施しており、実習地域として離島を含む道内各地域に及びます。
8. 国家試験対策の充実・支援  
教育力向上の一環として、国家試験合格者の向上を図るため、各学部・学科において模擬試験や予備校からの補充講義を充実させました。
9. 教育支援体制の強化  
全学部において入学前教育を実施しました。また、学習支援の充実を図るため、全学部に教育支援室または学習支援センターを設置し、学習相談・指導及び補修授業の開講等を行いました。
10. 就職・キャリア支援  
①学内合同就職相談会の開催  
2014年10月に臨床心理学科、臨床心理学科、言語聴覚療法学科を対象に、北海道内外の病院、一般企業、社会福祉施設、行政機関など、90団体の参加を得て開催しました。  
②業学セミナー(学内合同就職相談会)  
2014年5月12日の2回、薬学部を対象に道内外の病院、製薬企業、行政機関等の薬剤部門責任者・人事担当者の参加を得て開催しました。  
(5月参加団体118団体/約200名)12月参加団体127団体(約230名)
11. 薬学教育及び経済的支援の充実  
①「薬学教育・研究者育成奨学金」制度の実施  
本学薬学部で卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後、薬として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する学生・薬学成績ととも優れた薬学部入学者に対し、国立公立大学の学納金の差額相当分を減免す

- る「薬学教育・研究者育成奨学金」制度を実施しました。
  - ②「歯学部特待奨学生」制度の実施  
特待、歯科医学・歯科医療の分野をリードする高い志を持ち、人物・学業成績ともに優れた歯学部入学者に対し、その経済的支援策として、在学中の6年間の学納金を国立大学と同水準以下とする「歯学部特待奨学生」制度を実施しました。
  - ③歯学部国公立(教育充実奨学金)の改定  
修学における経済的負担を軽減するため、2014(平成26)年度入学者より、歯学部教育充実奨学金(4,000万円)を廃止しました。
  - ④「福祉・介護人材育成奨学金」制度の実施  
人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、人物・学業成績ともに優れた臨床福祉学入学者に対し、学納金を4年間で390万円減免する「福祉・介護人材育成奨学金」制度を実施しました。
- 【歯学部生・専門学科】
1. 奨学金及び経済的支援  
AO推薦入学者に対する入学減免制度(半額免除)を実施しました。
  2. その他の経済的支援  
①「夢つなぎ入試」の実施  
経済的理由により進学が困難な状況にある受験生を対象とした「夢つなぎ入試」を実施しました。  
②入学奨励金支給制度の実施  
本学卒業生の子や兄弟姉妹で二人目以上の入学者を対象とする「入学者奨励金」制度(入学相当額)に加え、本学卒業生又は退学のもの、改めて本学他学科に入学者の場合、入学相当額の奨励金を支給する制度を実施しました。  
③その他の経済的支援  
成績優秀・心身健全で、経済的理由により奨学金の貸与が必要と認められた学生を対象とした「一般奨学金」、父母等学費支拂者が災害、事故等により学費の支弁が著しく困難となった学生で、成績優秀・心身健全である学生に貸与される「災害・事故等奨学金」など、本学独自の奨学金制度を実施し、学生の経済的支援に努めました。



主な事業の実績(つづき)

研究活動

- 1. 文部科学省「大学改革推進事業(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)」採択事業の推進
2. 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業(分野連携)」採択事業の推進
3. 外部資金の導入
4. 重点配分研究費の配付
5. 教育向上・改善プログラムの公募
6. 長岡技術科学大学との研究交流の推進

診療活動

- 医療機関入院状況
2. 地域連携推進室の設置
3. 高大連携

社会連携(貢献)

- 1. 公開講座
2. 地域連携推進室の設置
3. 高大連携

学校法人 東日本大学

2015年度予算について

2015年度予算の概要

概要

本学は、中長期の展望に立った「2020年行動計画」を2009(平成21)年にスタートし、大学改革に取り組んでいます。この間、4月から心理学部、歯学部、歯学部附属センターの移動開始が開始されるとともに、心理学部言語聴覚療法学科(リハビリテーション)科学部

【資金収支予算書】

収入に関しては、前年度予算比10億2,716万円の増の94億2,480万円と見込んでいます。科目別には、学生生徒等納付金収入、手数料収入の増加が見込まれる半面、それ以外の寄付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入など軒並み減収が見込まれます。

資金収支予算書

Table with columns: 科目, 2015年度予算, 2014年度予算, 増減. Rows include 収入の部 (Total 94,248,000) and 支出の部 (Total 91,762,516).

教員を派遣しての模擬講義、および本学にて高校生を受け入れる体験学習やインターシップを実施しました。

生涯学習

- 1. 北海道「福祉・介護人材確保総合対策事業(福祉のしごと魅力アップ事業)」採択事業の推進
2. 薬剤師支援センターにおける認定薬剤師研修の実施
3. 認定看護師(CN)の養成

国際交流

- 1. 大学・学部間交流
2. 国際交流推進室(Global Networking Office)の設置
3. 語学研修
4. 広報活動

電子媒体の活用を行い、さらに、オープンキャンパスは年5回(レギュラー4回、オープン見学会1回)実施しました。

経営管理

- 予算の効率的運用・削減
情報の公開
施設・設備
1. リハビリテーション科学部設置に伴う研究用備品の整備(20,000千円)
2. 北海道医療大学病院整備改修工事(174,213千円)
3. 中央講義棟8・9階の改修工事の実施(514,944千円)
4. 歯学部研究棟の耐震改修工事を含む耐震改修工事の実施(942,138千円)
5. マルチメディア教育システム機器の更新(28,080千円)

【2020年行動計画】の推進

- 1. 人間力教育の向上プロジェクト
2. 医療機関経営の健全化プロジェクト
3. キャンパス再構築プロジェクト
4. 経営管理プロジェクト

2015(平成27)年度当初予算は、3月23日開催の評議員会・理事会、予算の補正は、5月26日開催の評議員会・理事会で承認されましたので、その概要についてお知らせします。

加算した5億6,000万円となります。
よって、総額は前年度予算比1億3,661万円の増の95億6,748万円となり、教育活動収支差額は1,508万円のプラスとなります。

- ②教育活動外収支
事業活動収入の部は、受取利息・配当金の5,000万円、前年度予算比1,330万円の増です。一方、事業活動支出の部は、借入金利息の573万円、前年度予算比573万円の増です。また、教育活動外収支差額は4,427万円のプラス、前年度予算比1,903万円の減となります。よって、経常収支差額は前年度予算比6,570万円の減の5,936万円のプラスとなります。
③特別収支
事業活動収入の部は、資産売却差額01億円、現物寄付の2,500万円、前年度予算比2,246万円増の総額1億2,500万円と見込まれます。また、事業活動支出の部は、資産処分差額の1,000万円となり、その結果、特別収支差額は1億1,500万円のプラスとなります。以上から、予備費の5,000万円を引いた基本基金組、前年度収支差額は1億2,436万円のプラスとなります。また、基本基金組の13億3,905万円を組み入れることにより、当年度収支差額は12億1,469万円のマイナスとなります。

主な事業計画

- 教育及び学生支援活動
【大学院】
1. 大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻博士(後期)課程の設置
2. 専門看護師(CNS)・NP(ナース・プラクティショナー)の養成
3. 特定行為に係る看護師の養成
【学部】
1. 心理学部の別当センターへの移転
2. リハビリテーション科学部改組(リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の設置)
3. 国際試験対策の充実・充実
4. 異学部連携及び経済的支援の充実
【歯学部附属歯科衛生士専門学校】
1. 異学部連携及び経済的支援の充実
2. 国際試験対策の充実・充実

- 研究活動
1. 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業(分野連携)」採択事業の推進
2. 文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(大学改革推進経費)」採択事業の推進
3. 外部資金の導入
4. 長岡技術科学大学の研究交流の推進
■診療活動
1. 医療機関経営の健全化
2. 社会貢献・連携
3. 当市別、川州市との包括連携協定の推進
3. 高大連携
4. コミュニティ事業
5. 本学施設の地域への開放
■生涯学習
1. 薬剤師支援センターにおける認定薬剤師研修の実施
2. 認定看護師(CN)の養成
■国際交流
1. 大学・学部間交流
2. 語学研修
3. ロシア・アフリカ・南米・ヨーロッパとの交流推進
■経営管理
1. 人件費
2. 予算の効率的運用・削減
3. 学園整備計画に基づき借入金の返済
■施設・設備
1. リハビリテーション科学部設置に伴う研究用備品の整備
2. 心理学部の別当センター移転による教育・研究環境の整備
3. 歯科クリニック(2階・3階)の改修工事の実施
4. 歯学部講義棟の実習室(2階・3階)改修工事の実施
■その他
1. 情報の積極的な公開
2. 【2020年行動計画】の推進

また、支出に関しては、前年度予算比3億3,767万円の増の97億5,600万円が見込まれます。人件費支出は前年度予算比1億4,567万円の増、教育研究経費支出は前年度予算比49,622万円の増、管理経費支出は前年度予算比1,723万円の減です。施設関係支出は歯学部実習室改修工事、歯科クリニック改修工事等の支出、また設備関係支出は中央講義棟マルチメディア整備費、歯学部実習室に係る教育研究用機器備品等の支出を計上しています。よって、翌年度繰越支払金は67億4,651万円が見込まれます。

【事業活動収支予算書】

事業活動収支予算書は、経常的収支(「教育活動収支」と「教育活動外収支」)および臨時的収支(「特別収支」)を区分してそれぞれの収支状況を把握できるように作成されています。また、毎期の収支状況を把握できるように現行の基本基金組後の収支差額に加えて、基本基金組前の収支差額が表示されています。
①教育活動収支
事業活動収入の部は学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入及び借入金の合計であり、総額89,256万9,423円、前年度予算比1億8,328万円の減となります。一方、事業活動支出の部は、人件費の50億26,213万円、教育研究経費の資金収支計算書に計上された金額に減価償却額9億6,914万円を加算した33億4,535万円、管理経費の資金収支計算書に計上された金額に減価償却額1億668万円を

事業活動収支予算書

Table with columns: 科目, 2015年度予算, 2014年度予算, 増減. Rows include 収入の部 (Total 89,256,942) and 支出の部 (Total 91,085,164).

Table with columns: 科目, 2015年度予算, 2014年度予算, 増減. Rows include 事業活動収入計 (9,157,561,000), 事業活動支出計 (9,033,203,480).

2015年

# 新入生アンケート 結果報告

毎年恒例の全学実施の新入生アンケート。新入生が本学のどこに魅力を感じて志願したのかを聞いてみました。

## 多くの学生が「医療系総合大学」に期待。

全ての学科において、医療系総合大学である点を魅力に挙げた学生が多いという結果になりました。また「学生生活」という回答も多く、課外活動などでも他学科との交流が盛んなことに対する大きな期待があらわれています。

## 注目が集まる「国家試験成績」と「キャンパス環境」。

高い合格率を誇る国家試験成績にも、回答が集中。また「キャンパス環境」を挙げる学生も多く、自然と先端の施設・設備で学べる環境も本学の強い魅力であると言えます。

## 歯科衛生士専門学校では、おおよそ8割がオープンキャンパスに参加。

施設見学や体験学習などを通して学校の雰囲気を自分の目で実際に確かめられるオープンキャンパス。例年通り、多くの学生がこの機会を利用していることがわかります。

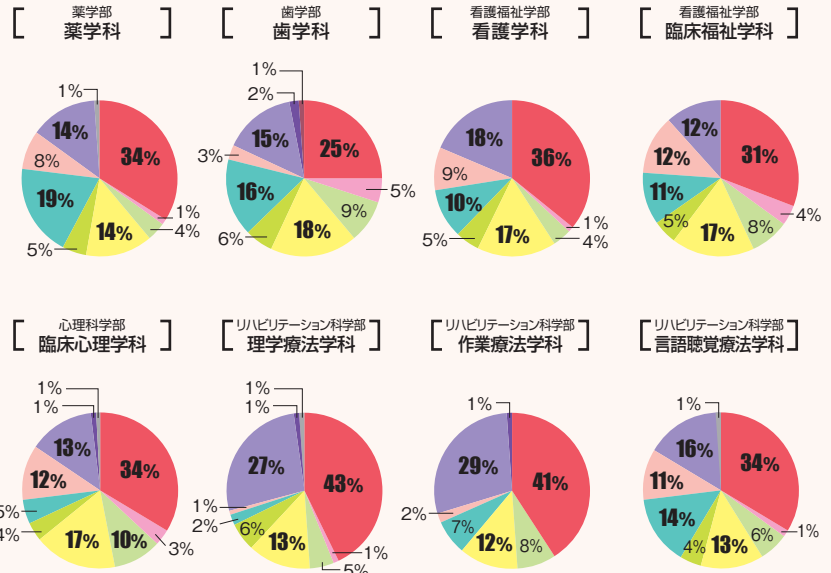
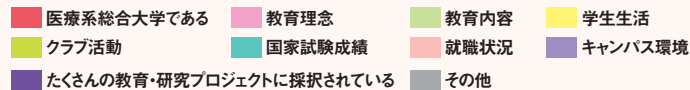
### ■有効回答者のプロフィール

	薬学部	歯学部	看護福祉学部 看護学科	看護福祉学部 臨床福祉学科	心理科学部 臨床心理学科	リハビリテーション科学部 理学療法学科	リハビリテーション科学部 作業療法学科	リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科
回答者人数	169*	79*	112*	57*	68	88	46	68
出身地								
北海道	144	51	111	53	62	86	43	64
東北	15	6	1	3	3	2	3	3
東京・神奈川・千葉・埼玉	2	5	0	1	2	0	0	1
上記以外の関東甲信越	0	3	0	0	1	0	0	0
東海・北陸	2	3	0	0	0	0	0	0
関西	1	7	0	0	0	0	0	0
中国・四国	2	0	0	0	0	0	0	0
九州・沖縄	3	4	0	0	0	1	0	0
性別								
男	75	57	11	23	20	45	9	20
女	94	22	101	34	48	43	37	48
卒業年度								
2015年3月	129	45	99	52	53	88	43	62
2014年3月	24	13	8	2	10	0	3	4
2013年3月以前	16	21	5	3	5	0	0	2
入試形態								
AO方式入試	24	16	10	8	9	13	9	18
一般推薦入試	19	4	21	0	3	14	5	7
特別推薦入試	34	7	29	8	11	13	10	11
一般前期入試	62	13	34	15	21	29	13	13
センター前期A入試	14	19	5	6	14	8	3	7
センター前期B入試	6	5	6	11	4	5	3	7
一般後期入試	5	3	2	6	5	5	2	4
センター後期入試	1	0	4	0	1	1	1	1
一般後期B試験	-	4	-	-	-	-	-	-
編入学試験	4	8	1	3	0	0	0	0

\* 編入生を含める

## 北海道医療大学

### Q. 本学を志望した際、併願を考えた他大学と比べて本学のどこに魅力を感じましたか？

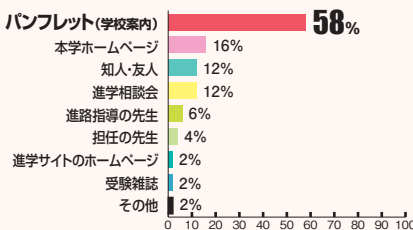


## 歯学部附属歯科衛生士専門学校

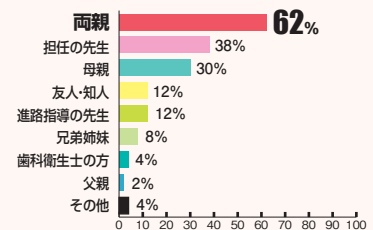
### Q. 本校のオープンキャンパスに参加しましたか？

参加した **84%**

### Q. 本校を何で知りましたか？ (複数回答可)



### Q. 進路決定にあたって誰に相談しましたか？ (複数回答可)



## EDITOR'S NOTE

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新学期を迎え、あっという間に4か月が経ちましたが、学生生活はいかがでしょう？高校とは違う授業スタイル、80分の講義、広いキャンパス、新たな人間関係と、初めてのことばかりで最初は戸惑うことも多いかもしれませんが、また、故郷を離れて一人暮らしを始めた学生さんは、新しい街、生活にまだ寂しさを感じ、家事や炊事に奮闘しながら、慣れない日々を送っているかもしれません。しかし、このような環境の変化も、見方を変えれば、これまでとは違う新しい自分に出会えるチャンスでもあります。大学での学びを通して、あるいは、アルバイト、部活、サークル、ボランティアなどの経験を通して、ふとしたことがきっかけで、これまで自分でも気が付かなかった新たな興味や関心が芽生えるかもしれません。またそこで新たに出会った人が自分にとってかけがえのない存在となり、一生繋がるような人間関係になるかもしれません。

大学生活の4年間・6年間は長く見えて、終わってしまえば本当にあっという間です。出会いと好奇心を大切に、様々なことに積極的にチャレンジし、学生としての貴重な時間を謳歌してください。

(A・S記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.161

STAFF ● 遠藤 泰 派上 尚也 長澤 敏行 伊藤 修一  
遠藤 紀美恵 志波 晃一 金澤潤一郎 武田 涼子  
澤村 大輔 白鳥 亜矢子 千葉 利代 杉谷 昌彦  
宮川 雄一 國見 明美 塚田 将人

発行日 ● 2015年7月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
☎(0133)22-2113  
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。  
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp

■北海道医療大学の教育理念  
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

